

## 資料配布の場所

1. 国土交通記者会
  2. 国土交通省建設専門紙記者会
  3. 国土交通省交通運輸記者会
  4. 横須賀市政記者クラブ
- 令和5年8月30日同時配布

## 国総研資料第1252号 『ネットワーク構造から見た日本のコンテナ港湾の 重要性についての考察』を刊行します

本資料では、日本の港湾政策の対象である京浜・阪神港の世界の海上コンテナ輸送ネットワークにおける重要性を、ネットワーク分析による中心性指標を用いて評価しました。分析の結果、京浜・阪神港のネットワークにおけるプレゼンスは、貨物取扱量の順位の低下ほどには低下していないこと、また、日本の港湾は釜山港への依存度が高いため、ネットワーク構造上、釜山港の機能停止に対して極めて脆弱であり、この問題を解決するためには、京浜・阪神港を国内ハブとして機能させることが重要であることが明らかとなりました。

## &lt;目次&gt;

- 第1章 はじめに
- 第2章 先行研究の整理
- 第3章 方法論
- 第4章 日本のコンテナ港湾政策
- 第5章 分析結果
- 第6章 考察
- 第7章 結論

本資料は、国総研ホームページで公開しています。

ダウンロード先URL：<https://www.ysk.nilim.go.jp/kenkyuseika/pdf/ks1252.pdf>

## (問い合わせ先)

国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部 港湾システム研究室  
室長 杉村 佳寿 (内線：3320)  
TEL：046-844-5019 E-mail：ysk.nil-46pr@gxb.mlit.go.jp